

広報させば 情報カレンダー 06. 3月



日	月	火	水	木	金	土
毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13時~15時、佐世保商工会議所)			1 中小企業金融公庫出張相談 新入学児童の交通安全教室 ~4月7日	2	3 出前保育「みんなよっといでー」	4 環境プラントバスツアー
5 火の用心チャリティーバザー 小動物の飼い方教室	6	7	8	9	10 親子のつどい 発明相談	11 動物獣舎探検隊(25日も) 柚木お茶の間トーク
12 ツル観察会~31日 洋ランの植え替え講習会	13	14	15 市立総合病院の健康教室 市立中学校の卒業式	16 国民健康保険の夜間相談(28日も) 市立小学校の卒業式	17 マタニティークッキング	18 早岐お茶の間トーク、さかなクン講演会、さかなクンのぎょぎょとお魚大図鑑 ~5月28日
19 100年の森づくり「植樹祭」 春のアーチェリー初心者講習会(21日も)	20	21 春分の日 こどもフォーラム2006	22	23 人権を考える市民の集い	24 九十九島音楽祭~26日	25 佐々川自然観察会 潮見・白南風お茶の間トーク
26 国民健康保険の日曜相談	27	28	29	30	31	

4月上旬の主な行事予定

- 4/1 佐世保市・宇久町・小佐々町合併記念式典、白浜キャンプ場受付開始
- 4/3 不動産鑑定士による不動産の無料相談会
- 4/9 市民早朝・ナイターソフトボール大会開会式

テレホンガイド

救急・火災

医療機関案内 ☎23-8199  
 火災情報 ☎0180-999-999  
 エイズ相談・性感染症相談  
 専用相談電話 ☎0120-104-783  
 Eメール shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談

青少年教育センター ☎22-0077  
 (毎月第3日曜の13時~16時には、休日教育相談を受け付けています)

女性相談

スピカ ☎24-6180  
 (水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

消費生活相談

市消費生活センター ☎22-2591  
 (土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分~17時15分)

3月の健康テレホン

県保険医協会 ☎23-4300  
 3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます  
 月 尿酸が高いといわれたら  
 火 高齢者の転倒予防  
 水 子どもへの上手な薬の飲ませ方  
 木 男性型脱毛症の最近の治療  
 金 最近のインプラント  
 土、日 高齢女性の性器出血

人のうごき (2月1日現在)

総人口 247,871人  
 男 116,700人  
 女 131,171人  
 世帯数 96,157世帯

1月中のうごき

転入 554 転出 566  
 出生 183 死亡 223

見て、聞くさせば 市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC (9時25分) NIB (11時25分)  
 NCC (11時40分) KTN (17時25分)

ラジオ

NBC 毎週日曜日 9時25分  
 FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です。

増え続ける不法投棄

昨年1月から市では家庭ごみの有料化を実施しましたが、目標を上回る減量を達成しています。市民の皆さまのご協力にあらためて感謝申し上げます。

しかし一方で、残念なことです。ごみの不法投棄が増え続けています。市では市内を3地区に分け、毎日市の職員によるパトロール、さらに隔週ではありますが、民間に委託して夜間パトロールを実施し、不法投棄の監視体制を強化してきました。

また、不法投棄が多く発見される場所には、地主の皆さんに協力をお願いして不法投棄禁止の看板や防護柵を設置するなどの対策を講じていますが、年々不法投棄の件数は増え、平成17年は480件に達しています。

家庭ごみの減量目標「15%」をはるかに超える約25%の減量を達成した高いモラルを持つ方々が多数いる一方で、卑劣な行為を恥じないわずかな人がいることは残念でなりません。

市としても、不法投棄には一層目を光らせていきますが、最後は「市民モラル」の向上というところに行き着きます。今後とも啓発活動をはじめ、長期的な視点に立った施策を考えていきたいと思っております。

佐世保市長 光武 顕



牛乳谷と橋本牧場 (若葉町)

福石観音入口バス停から市道を北東に100mほど入ると若葉公園があります。昭和初年までここには橋本牧場の牛小屋があり、20頭ほどの乳牛が飼われていました。このため、戦後も昭和30年代まで、「牛乳谷」の通称で呼ばれていました。近くに住む前田トワさん(91歳)は「今の市道の真ん中に川が流れ、川向こうの牛小屋を見ながら日宇小学校に通いました。5合(900ml)ぐらい入るびんを持って時々牛乳を買いに行っていました」と話されました。

古代の日本では、牛乳を固めた「蘇」と呼ぶ乳製品が貴族などの食卓に上っていました。しかし、その後は千数百年にわたって使われず、江戸時代の末まで中断していました。文久元(1861)年に千葉

の前田留吉が横浜のオランダ人から搾乳の技術を習い、初めて乳業の経営を始めました。佐世保では記録が残っていませんが、イギリス式に学んだ海軍が滋養食品として肉食とともに牛乳も飲んだと思われ、明治中期から梅の木田(現梅田町)の小井手牧場など、当時の郊外地区に牧場が営まれていました。



橋本牧場の近くには森搾乳所も操業し、「健康増進に牛乳を」蒸気殺菌消毒の全乳と宣伝していました。海軍さんや工場の職子さんなどが主なお客様だったでしょう。当時の若葉町はまだ日宇村時代で、福石免と呼ばれ、川向こうの橋本牧場までがひと足早く佐世保市に編入されました。乳業に大手企業が



に牛乳が大衆化するのは戦後の昭和20年代のことです。

(筒井隆義)

『人のうごき』の2月1日現在の人口や世帯数は、平成17年国勢調査の速報値を基に集計したものです。